

日 時	: 令和5年2月8日（水）	9時30分～10時53分
場 所	: 島中学校 第2会議室	
出席者	: 委員12人（欠席5人）	
資 料	: 第3回資料（冊子）	

1 会長挨拶

2 学校からの説明

- 保護者学校評価「教育活動に関するアンケート」の結果について
- 令和5年度の学校行事案について
- 不登校生徒に関する支援のあり方について
- 地域部活動「島中 CVS 部」、教育ボランティアの進捗状況
- 学校生活の様子、「ここタン」の運用、いじめの現状、決算報告等

3 意見交流・質疑

- 不登校が全国的に増えている。岐阜市では、草潤中学校の取組が注目されている。島中の不登校支援の取組に、期待している。
- 11月のキャリアスクールは、支援推進委員会の努力で充実した行事となった。
- 本協議会の場で、子どものための対策について議論していることが素晴らしい。このことを、広報誌等で地域に広めることが必要。
- 不登校傾向の子どもが、短い時間でも学校に行ける場を設けることはよい。
- 市民運動会や公民館清掃等で、中学生のボランティア参加が多くとても助かった。
- 授業では、少人数での意見交流の機会を増やしていると説明されたが、どのように進めているのか。
 - 4人程度のグループで意見交流をする機会を増やしている。教科により、方法に違いがある。表現力が高まることが期待できる。
- 不登校の子どもの、高等学校進学等、卒業後はどうなるのか。
 - 通信制高等学校など、不登校傾向の生徒を受け入れる学校が増えている。「エールぎふ」の支援につなげている。
- 引きこもりが年々増え、社会問題となっている。高校に進学する子どもはよいが、進学を選ばない子どもとその家庭への支援がなくなることが心配。
- 小学校での学級崩壊を心配している。小学校の様子を見たが、一人ひとりの子どもは悪くないと感じた。
- 保護者アンケートの数値が年々よくなっている。アンケートの回収率を高めたい。
- 「ここタン」の取組が始まったが、教師はこれに頼りすぎないようにすることが大切。「ここタン」ですら、自分の苦しみを発信できない子どもがいる。

4 校内参観 … 希望者1人が参観